

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	共愛学園前橋国際大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウアイガクエンマエバシコクサイダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F110310101844
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	群馬県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	国際社会学部
	担当教職員名・役職	教授 兼本 雅章、キャリアセンター長 鈴木 京子
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	39
	受入企業等数	24
	受入企業等名	渋川市、(株)足利フラワーリゾート、朝日印刷工業(株)、(株)フレッセイ、(株)煥乎堂、(株)泉 フラワーガーデン泉、(株)高崎松風園、足利市にしこども館、(株)群馬スポーツマネジメント、(株)メモリード、(株)ポーラ ポーラザビューティ前橋川原店、(株)古久家、(株)中沢ヴィレッジ、クシダ工業(株)、前橋市国際交流協会、(株)エフエム群馬、ネットトヨタ群馬(株)、(株)アプロ、(株)紀伊國屋書店、高崎市井野児童館、(株)天坊、(株)ミタカ工房、(株)プランニング、共愛学園学童クラブ
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 4単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	

## 要素③

3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
	3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	5.その他
3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	前年参加者数名による体験談
3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	4.その他
3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	報告書の作成を行い、次学年の事前指導で教材として共有され、継続的な学びのサイクルを作っている。
3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	就業体験実習期間中に一度、挨拶を兼ねて教職員が受入企業を訪問し、企業担当者から実習生について気づいた点等の聞き取りを行い、今後の事前指導に反映させている。併せて学生の様子や学生から感想などの聞き取りを行っている。
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	事前学習として、前年参加者による実習体験談、グループワーク・発表、ビジネスマナー（秘書検定3・2級取得を目指す）、インターンシップの目標・行動計画設定、自己分析・履歴書の作成、実習先企業の事業内容等の調査・研究・レポート提出、実習企業事前訪問指導など行っている。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	実習日誌と実習中の各自記録したメモ・企業から提供資料等を元に実習報告書の作成並びに実習報告会へ向けた資料作成。受入企業に実習評価。報告会で学びの共有とフィードバックを行う。次年学生の事前指導においてインターンシップ参加学生による実習体験談を実施、学びの共有も行っている。

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	各企業の実習日程（2週間）のうち、企業担当者の都合の良い日時を調整し訪問を行っている。その際、企業側が気が付く点を伺い、翌年の事前に指導に反映させている。併せて、実習に参加している学生の感想や質問に対応している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	4.その他 受入企業にも評価してもらっている。
4-3.上記回答内容に関する詳細	「成績評価表」に基づき評価をしてもらっている。実習生について特記すべき点や困られた点、事前準備（ビジネスマナーなど）に関して要望等があれば、更に記入いただき次年度の事前学習へ反映している。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
		3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	原則、2週間（実働10日間）の実習。
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	原則、2週間（実働10日間）の実習のため、企業の都合で実習期間が5日間の場合は、複数企業での実習で2週間（実働10日間）の実施期間を確保している。
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
5-3.上記回答内容に関する詳細		
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	7.その他 実習前に実習企業を事前訪問する。
6-3.上記回答内容に関する詳細	実習生が決定後、実習までの間で一度、実習生全員による事前訪問を行い、企業担当者と学生の打合せを行っている。	

	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://sy.kyoai.ac.jp/2021/604600.pdf">http://sy.kyoai.ac.jp/2021/604600.pdf</a>
問い合わせ先	大学等名	共愛学園前橋国際大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	キャリアセンター・就職支援グループ長
	担当者氏名	大谷 翔
	電話番号	027-266-9035
	メールアドレス	<a href="mailto:otani-s@c.kyoai.ac.jp">otani-s@c.kyoai.ac.jp</a>